
友よ、助けてくれ

千嶋桂華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友よ、助けてくれ

【Nコード】

N6986T

【作者名】

千嶋桂華

【あらすじ】

愛の対義語は、憎悪ではなく無関心だというのは、有名な話ですよな。

（前書き）

持つべきものは友（なにかが違う）

もし世界が、確実に私を厭うのなら

私は思う存分世界を憎むことができるのに。

もし世界が、完全に私を好いてくれるなら

私はその無防備な腹にナイフを捻じ込めるのに。

私は部屋の窓から、見慣れた景色を覗き込む

嗚呼、世界は変わらない

あの日からずっと

私は部屋の窓から、眩暈がしそうな景色を見る

嗚呼、世界は卑怯だ

私に答えを教えてくれない

遠い遠い地面。私の視力はそこに転がる石ころさえ見つける
無論、その石についた黒い染みも。

友よ、教えてくれ

あの日、ここよりももっと地面と近い窓で
誓いのような言葉を叫びながら飛び降りた友よ
私の言葉に、二度と耳を貸さなくなった友よ

私は君の言うように、世界に好かれる人間だろうか

それとも君の言うように、世界に厭われる人間だろうか

私はそれすら分らないのだ、友よ。

君が最後に叫んだ言葉の意味すら、理解できないのだ

嗚呼、嗚呼友よ

私は誰かに嫌われたいのだろうか

誰かに嫌われ、好きなだけ憎みたいのだろうか

私は誰かに好かれたいのだろうか

誰かに好かれ、その好意に甘えたいのだろうか

しかし友よ、君は気づいているだろう

敵であろうと、味方であろうと

私はその人に危害を与えることしかできないということ。

私は結局のところ、誰かを傷つける口実が欲しいだけなのだ
ただたいした理由も無く、免罪符が欲しいのだよ。

敵であれば私は彼の者を、正当防衛として傷つける
味方であれば私は彼の者を、その好意に甘えて傷つける

私はなんて最低な人間なんだろう

友よ、その冷たい土の下で私を待つ友よ

果たして君は、私を特別な存在としてみていてくれたのだろうか
私を、敵や味方に振り分けてくれていたのだろうか

友よ、答えてくれ

君の声が聞きたい

君の答えが聞きたい

友よ、お願いだ。

答えてくれ、答えてくれ

このままでは私は

世界中の誰からも、敵とも味方ともされない
居なくても良い存在になってしまう。

友よ 友よ 親愛なる我が友よ

助けてくれ 助けてくれ お願いだから

私を認識^{あい}してくれ
私を認識^{こころ}してくれ

もし世界が、確実に私を厭うのなら

私は思う存分世界を憎むことができるのに。

もし世界が、完全に私を愛してくれるなら

私はその無防備な腹にナイフを捻じ込めるのに。

もし、もしも世界が私にたいして無関心ならば

私という存在は今すぐにでも、消えてしまっただろう。

お願いだ、世界^{とも}よ

（後書き）

言っときますが、私の友人で自殺した人は居ませんよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6986t/>

友よ、助けてくれ

2011年10月8日12時24分発行